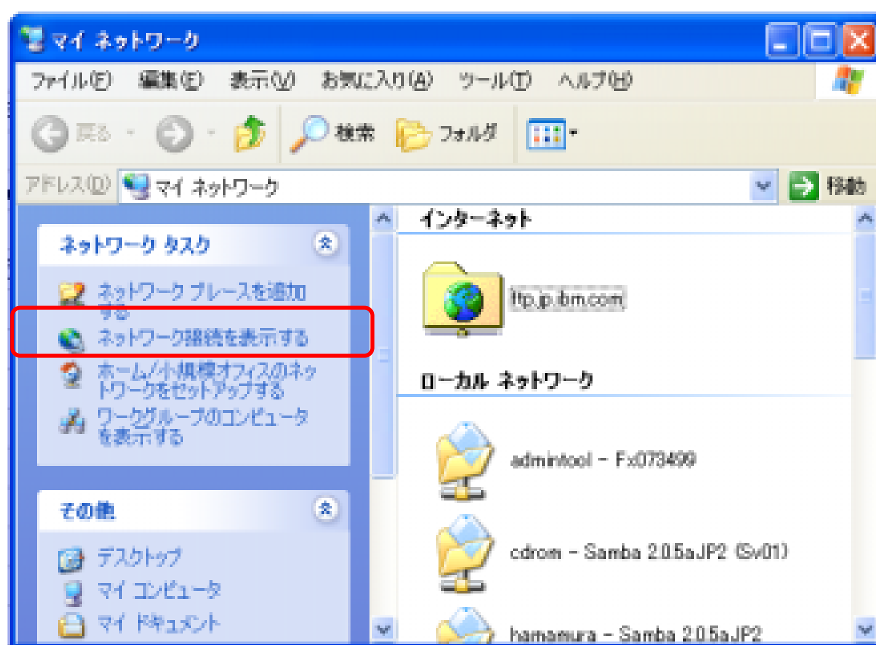
Ｗｉｎｄｏｗｓ XＰをご利用の方へ（ＰＰＰｏＥ）

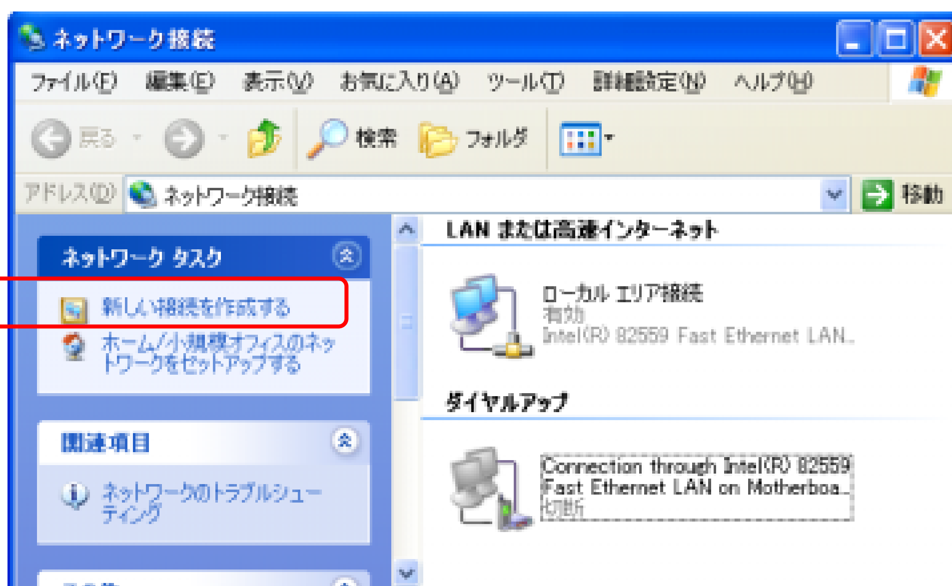
ご注意：ＮＴＴ製ＡＤＳＬモデムをご利用の方は以下の手順で設定して下さい。

１：ディスクトップ上の「マイネットワーク」を選択してください。

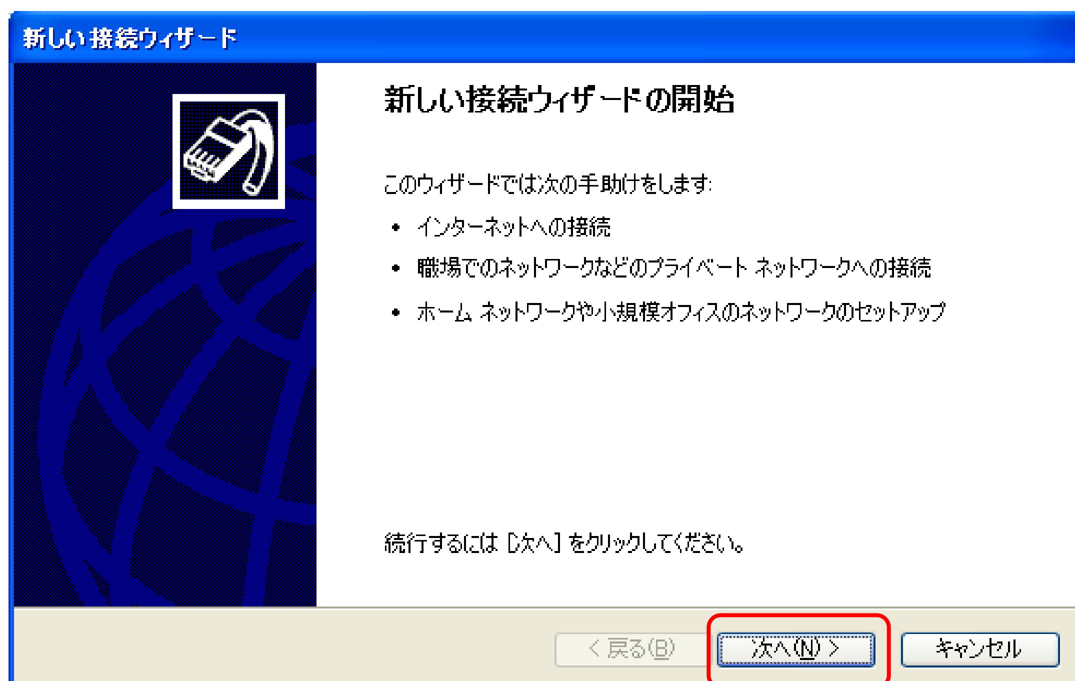
２：マイネットワークのウィンドウが開きますので、そのなかにある「ネットワーク接続を表示する」を選択してください。



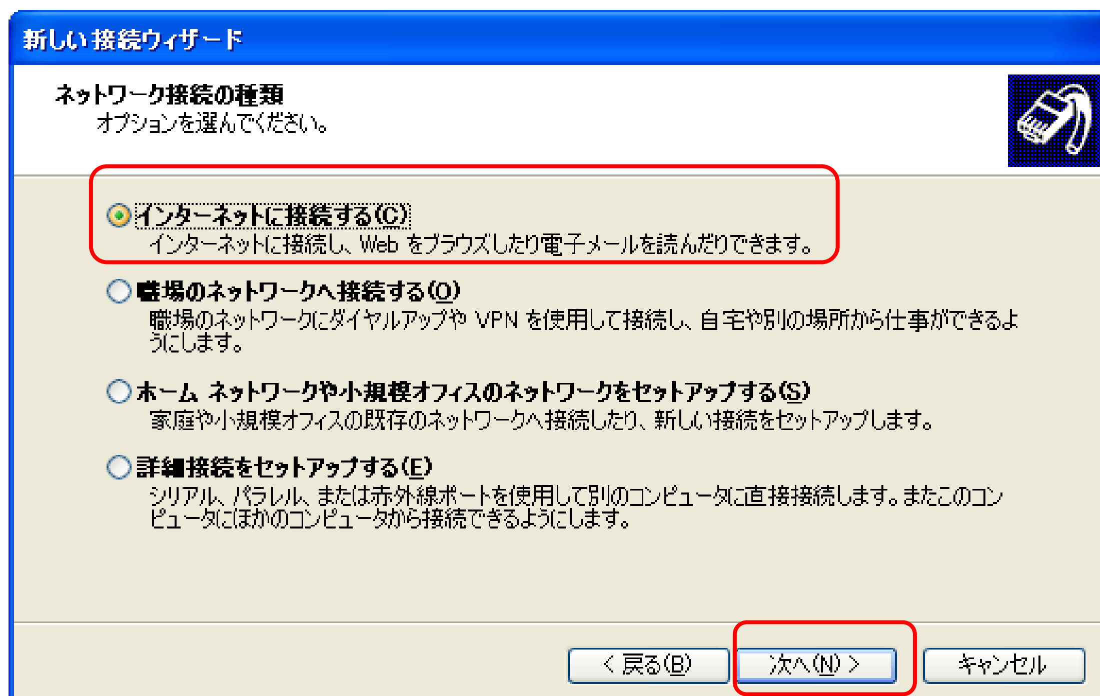
３：ネットワーク接続のウィンドウが開きますので、その中の「新しい接続を作成する」を選択してください。



４：新しい接続ウィザードのウィンドウが開きます。
「次へ」ボタンを押してください。



５：「インターネットに接続する」を選択し「次へ」ボタンを押してください。



６：「接続を手動でセットアップする」を選択し「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード

準備

インターネット接続をセットアップする準備をしています。

インターネットにどう接続しますか?

インターネット サービス プロバイダ (ISP) の一覧から選択する(L)

接続を手動でセットアップする(M)

ダイヤルアップ接続には、アカウント名、パスワード、および ISP の電話番号が必要です。広帯域のアカウントには、電話番号は必要ありません。

ISP から提供された CD を使用する(C)

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

７：「ユーザー名とパスワードが必要な広域帯接続を使用して接続する」を選択し

「次へ」ボタンを押して下さい。

新しい接続ウィザード

インターネット接続

インターネットにどう接続しますか?

ダイヤルアップ モデムを使用して接続する(D)

モデムや通常の電話線、または統合デジタル サービス通信網 (ISDN) 電話線を使用して接続します。

ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する(U)

これは高スピード接続で、DSL またはケーブル モデムを使用します。ISP によっては、この種類の接続を PPPoE として呼んでいます。

常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する(A)

これは高スピード接続で、ケーブル モデム、DSL または LAN 接続のいずれかを使用します。この接続は常にアクティブで、サイン インを必要としません。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

８：枠内に任意の文字、例えば「トータルネット」と入力し、「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード

接続名
インターネット接続を提供するサービスの名前は何ですか?

次のボックスに ISP の名前を入力してください。

ISP 名(A)

ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

９：弊社から送付している資料の、「ユーザー名（ＰＰＰログイン名)」と「パスワード」を枠内に
入力して「次へ」ボタンを押してください。

新しい接続ウィザード

インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。

ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

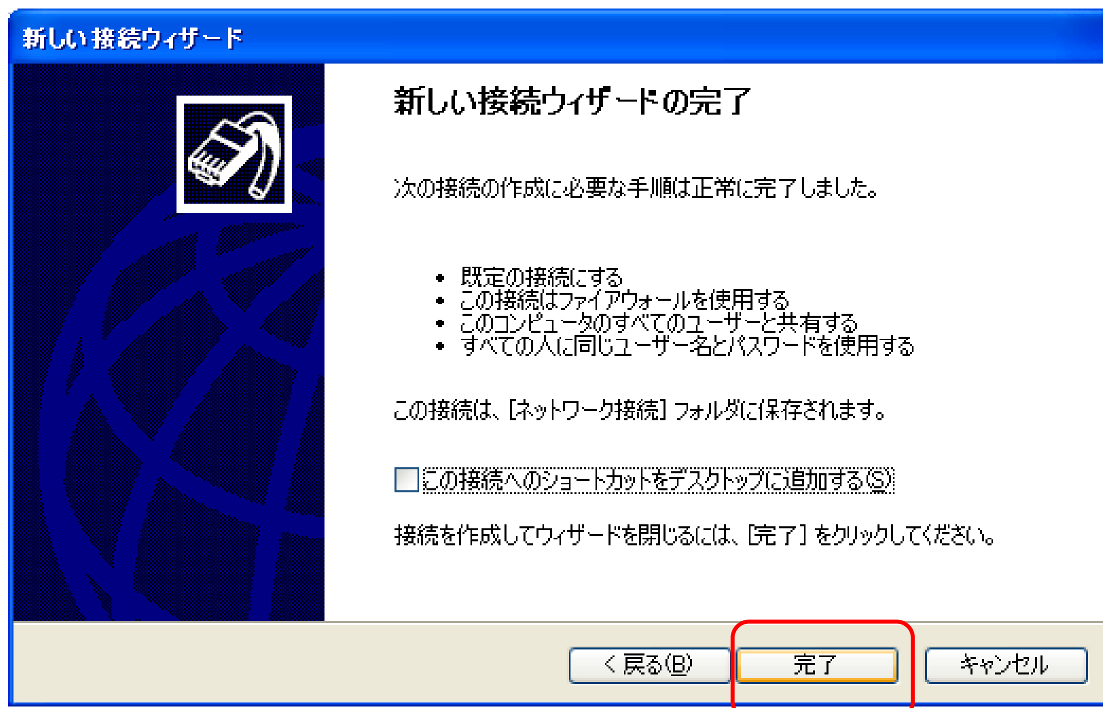
☑ このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)

☑ この接続を既定のインターネット接続とする(M)

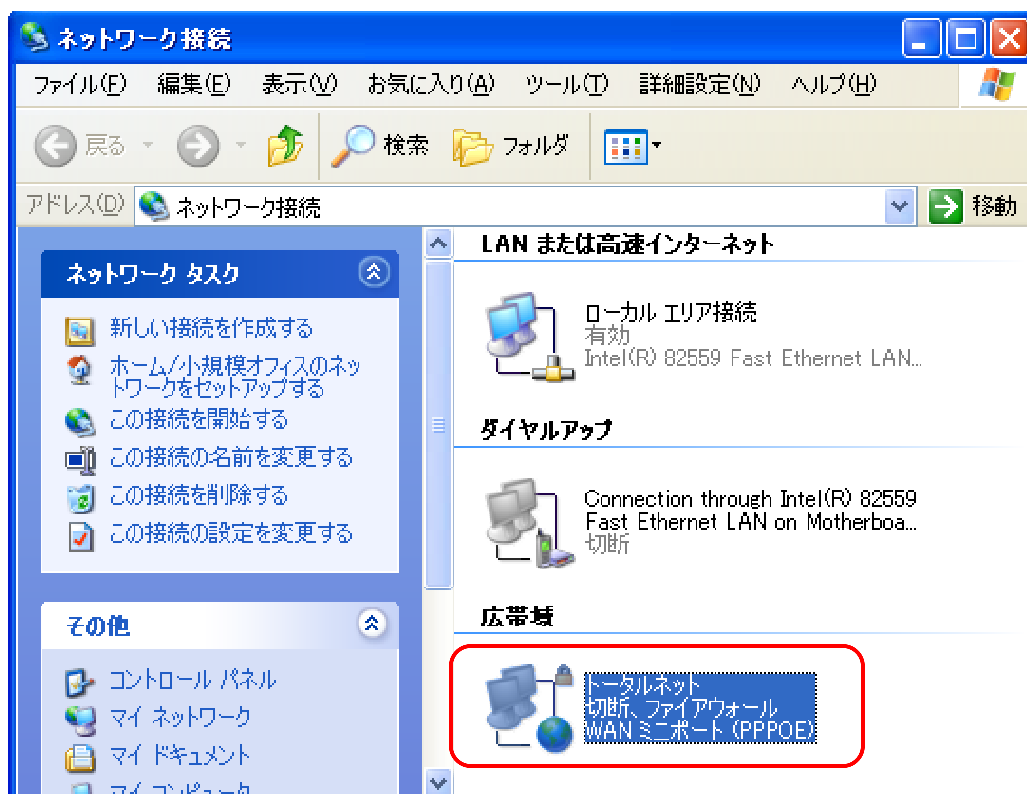
☑ この接続のインターネット接続ファイアウォールをオンにする(T)

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

１０：設定完了しました。「完了」ボタンを押してください。



１１：ディスクトップ上の「マイネットワーク」を選択し、開いたウィンドウ内に「8」でつけた名前のアイコンができていますので、それをダブルクリックします。



１２：以下のウィンドウが表示されましたら、「接続」ボタンを押してください。

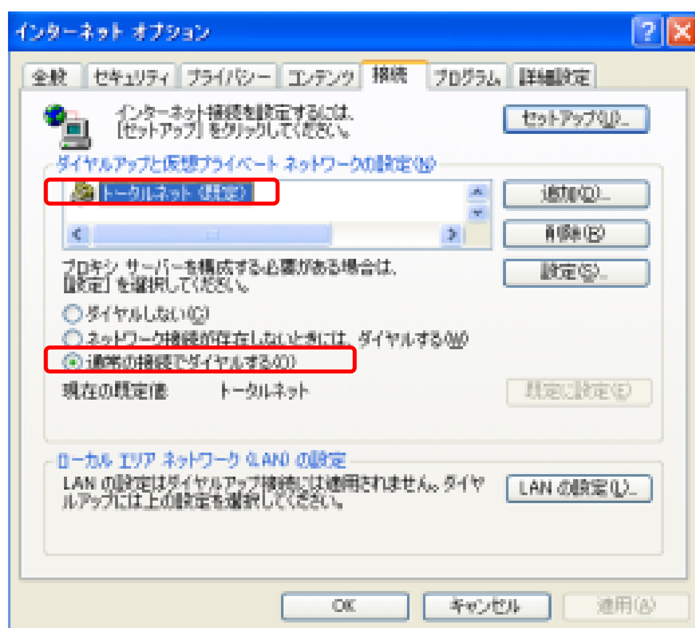


１３：接続後、ブラウザソフト（インターネットエクスプローラ等）を起動するとインターネットに繋がりいろいろなホームページが見られるようになります。

１４：ブラウザソフト（インターネットエクスプローラを例にします）

インターネットエクスプローラを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」と進み、「ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定」ところに、「８」でつけた名前が表示されており「(既定)」となっているか確認してください。なっていないようでしたら「既定」(「既定に設定」ボタンを押す) にして下さい。

また、「通常の接続でダイヤルする」を選択しておいて下さい。



１５：１４の設定がされていれば、インターネットエクスプローラを起動したとき、１２の画面が表示され
「接続」ボタンを押したらインターネットへ接続するようになります。

補足資料１

ＴＣＰ／ＩＰの設定

（機器の取扱説明書にも手順が載っていますので合わせてご確認下さい。）

Ｗｉｎｄｏｗｓ９８／Ｍｅの場合

１：「スタート」ボタン　→　「設定」　→　「コントロールパネル」の順に進み、コントロールパネルの画面を開く

２：「コントロールパネル」内の「ネットワーク」を選択

３：「現在のネットワークコンポーネント」の一覧の中から、「ＴＣＰ／ＩＰ→＜ＬＡＮカードの名前　※この部分は利用しているＬＡＮカードによって表示が異なる。＞」を選択し、「プロパティ」ボタンを押す。

４：「ＴＣＰ／ＩＰのプロパティ」画面が開いたら、

「ＩＰアドレス」　→　「ＩＰアドレスを自動的に取得」に設定

「ＤＮＳ設定」　→　「ＤＮＳを使わない」に設定

「ゲートウェイ」　→　設定しない（設定してあるなら削除）

の部分のみ設定してください。

５：「ＴＣＰ／ＩＰのプロパティ」画面を「ＯＫ」ボタンを押して閉じる。

６：「ネットワーク」画面も「ＯＫ」ボタンを押して閉じる。

７：再起動を促すメッセージが表示されたら再起動行う。（何も変更しなければ再起動を促すメッセージは出ない）

Ｗｉｎｄｏｗｓ２０００

１：「スタート」ボタン　→　「設定」　→　「コントロールパネル」　→　「ネットワークとダイヤルアップ接続」→　「ローカルエリア接続」を選択

２：「ローカルエリア接続の状態」画面が開いたら「プロパティ」ボタンを押す

３：「ローカルエリア接続の状態のプロパティ」画面が開くので、

その中の「インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）」を選択し「プロパティ」ボタンを押す

４：「インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）のプロパティ」画面内の

「ＩＰアドレスを自動的に取得する」と「ＤＮＳサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し

「ＯＫ」ボタンを押す

５：以上で設定終了ですので、ディスクトップ画面まで戻って下さい。

ＷｉｎｄｏｗｓＸＰ

１：「スタート」　→　「コントロールパネル」　→　「ネットワークとインターネット接続」　→
　「ネットワーク接続」と進み、「ローカルエリア接続」のアイコン上にマウスカーソルを移動させマウスの右ボタンを押し出てくるメニュー内の「プロパティ」を選択する。

２：「ローカルエリア接続の状態のプロパティ」画面が開くので、
　その中の「インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ)」を選択し「プロパティ」ボタンを押す。

３：「インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）のプロパティ」画面内の
　「ＩＰアドレスを自動的に取得する」と「DＮＳサーバのアドレスを自動的に取得する」を選択し
　「OＫ」ボタンを押す

４：以上で設定終了ですので、ディスクトップ画面まで戻って下さい。

Ｍａｃ ＯＳ ９．０４以降の場合

（ＯｐｅｎＴｒａｎｓｐｏｒｔのバージョンが2．６以上であること。）

１：「コントロールパネル」　→　「ＴＣＰ／ＩＰ」と選択しＴＣＰ／ＩＰの設定画面を表示させる。

２：経由先を「Ｅｔｈｅｒｎｅｔ」にする、

３：設定方法を「DHＣＰサーバを参照」にする。

４：以上で設定終了ですのでウィンドウを閉じます。このとき「保存しますか？」とメッセージが表示された場合は「保存」を選択します。

Ｍａｃ ＯＳ Ｘの場合

１：「システム環境設定」　→　「ネットワーク」と選択し、ネットワークの画面を表示させる。

２：ネットワーク画面内の、設定の部分を「内臓Ｅｔｈｅｒｎｅｔ」にする。

３：ＴＣＰ／ＩＰタブ内の、設定部分を「DHＣＰサーバを参照にする。他の部分は空白

４：ＰＰＰｏＥタブ内の、ＰＰＰｏＥを使って接続するのチェックをはずす。

５：ＡｐｐｌｅＴａｌｋタブ内の、ＡｐｐｌｅＴａｌｋ使用のチェックをはずす。

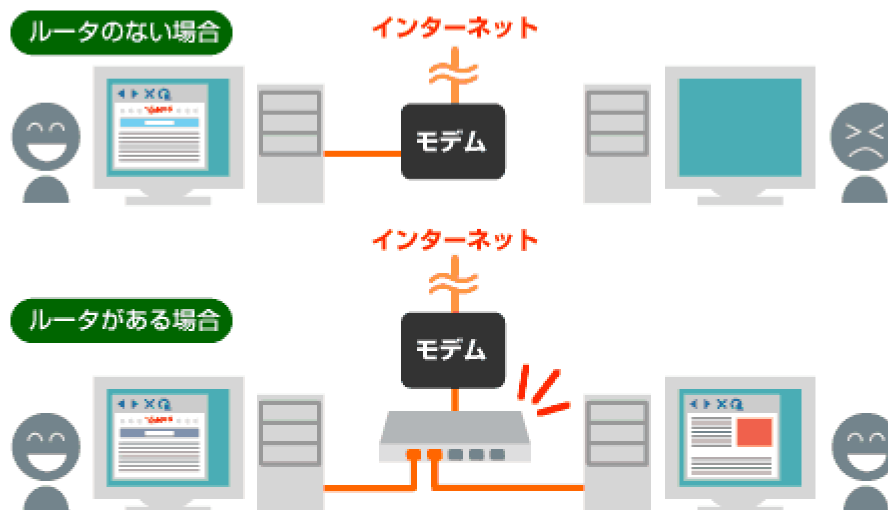
６：プロクシタブ内の、全ての項目のチェックをはずす。

７：「保存」ボタンを押し保存する。

８：「システム環境設定」　→　「システム環境設定を終了」を選択し終了する。

補足資料２

「ブロードバンドルータ」をご利用されている方、される予定の方



ブロードバンドルータを導入すると複数台のパソコンからインターネットの利用が可能となります。

ご使用されるブロードバンドルータは、「 ＰＰＰｏＥ（ＰＰＰ ｏｖｅｒ Ｅｔｈｅｒｎｅｔ） 」に対応している製品をご利用（お買い求め）下さい。

今お使いのブロードバンドルータが「ＰＰＰｏＥ」に対応していない場合、その製品のファームウェアをアップグレードすることにより「ＰＰＰｏＥ」対応にできる場合もあります。
詳しくはメーカーにお問い合わせいただくか、メーカーのホームページでご確認下さい。

ブロードバンドルータを利用される場合は、パソコンにＰＰＰｏＥクライアントソフト「ＲＡＳＰＰＰＯＥ」をインストールする必要はありません。(ＷｉｎＸＰは標準でＰＰＰｏＥクライアントソフトが組み込まれているので「ＲＡＳＰＰＰＯＥ」のインストール不要)